



暮らし関連情報

株式会社菊池製作所

新しい村づくりの雇用を確保 11月30日川内工場営業開始!!

川内村は、昨年3月の東日本大震災に伴う原子力発電所事故により約1年余りの避難生活を余儀なくされましたが、放射線量が偶然にも低いなどの理由によって、本年1月末に村長による帰村宣言を発し、そして4月1日から行政機能を村に戻し、現在全村民の約40%にあたる1,160人が帰村して、課題が山積している中で除染と復興を急ピッチで進めており、特に、失業者の対策は最重点として位置づけています。

幸いにして、東京都八王子市の株式会社 菊池製作所では、川内村にある富岡高校川内校の廃校舎を活用し、復興を応援したいとして、去る6月6日、武義弘福島県相双地方振興局長の立ち会いのもと、50人規模の雇用を行うなど工場立地に関する基本協定書を取り交わしました。

同企業は、1970年の創業以来「トータル試作メーカー」として、開発・試作・量産を行う総合製造業であり、福島県内では飯舘村、二本松市に続き、3か所目の工場立地となります。これまで校舎や体育館を改修し、操業に向けた準備を進めてきた結果、先月30日にめでたくオープニングセレモニーを迎えることができました。

今後においては、失業した村民、最大50人程度の雇用が予定されており、村の復興を後押しするうれしいニュースとなりました。



「体育館」が
ホットチャンバー成形の作業場へ



—11月30日に行われた川内工場 開所式—



川内村遠藤村長と立地協定締結時に、「今後、事業推進のため前に進んでいきたい。」とあいさつされた。

株式会社 菊池製作所
代表取締役社長 菊池 功



「教室」が
マシニング切削加工作業場へ



詳しくは、株式会社菊池製作所ホームページ
をご覧ください。

<http://www.kikuchiseisakusho.co.jp/>

◆◆◆ 復興に向けた事業者からのメッセージ ◆◆◆

この度、川内村からの協力により川内高校跡地をお借りして菊池製作所川内工場設立できたことを心から感謝しております。

川内村は人口も少なく一度衰えると元通りに戻るまで時間がかかりますが同じ村として戻れる環境作り、戻れる職場を取り戻したく川内村役場の協力により約30名の従業員の新しい仲間ができました。

引続き帰村しても安心して働ける環境づくり、村民と一緒に頑張って村活性のため積極的に地域貢献に協力して取り組んでいきます。

株式会社菊池製作所 福島統括工場長 齋藤 政宏